

募集

～学修者本位の教育と教育の質向上を目指すICT利用～

2024年度 ICT利用による教育改善研究発表会 (オンライン開催) 開催要項

この発表会は、全国の国立・公立・私立の大学・短期大学教職員を対象に、教育改善のためのICT利用によるFD（ファカルティ・ディベロップメント）活動の振興普及を促進・奨励し、その成果の公表を通じて大学教育の質向上を目指した教育活動の推進を目的として、1993年（平成5年）より優れた研究発表を選考し、表彰しています。最も優れた発表に対しては文部科学大臣賞、優秀な発表に対しては協会賞等を授与し、その教育業績を顕彰します。

ここでは、アクティブ・ラーニング、PBL（問題発見・課題解決型学習）等による教育方法の改善、遠隔（オンライン）授業導入による教育方法の改善、学修成果の評価方法、生成AIの活用など、多岐に亘った実践にもとづく研究成果の発表を予定しています。

大学教職員の皆様には、今後の教育活動の改善・充実に示唆を与えるものですので、発表会の重要性をご考察たまわり、奮って参加いただくことを希望します。

日 時：2024年（令和6年）8月23日（金）13:00～16:40（予定）

配信会場：アルカディア市ヶ谷（私学会館）から Zoom 配信

開催方法：オンラインによるテレビ会議室（Zoom 使用）とします。なお、申込者には8月16日（金）にメールでテレビ会議室専用の URL、ID とパスワードをお知らせします。

主 催：公益社団法人 私立大学情報教育協会

後 援：文部科学省（予定）

参加対象：国立・公立・私立の大学・短期大学の教職員、賛助会員

参加費：[参加者1人当たり]

加盟大学・短期大学、賛助会員：11,000円（税込）

非加盟大学・短期大学：23,000円（税込）

* 発表者の参加費は不要です。発表要項をご覧ください。<https://www.juce.jp/LINK/houhou/24houhou/24junbi.htm>

* 加盟校の確認は右のサイトをご覧ください。<https://www.juce.jp/LINK/kaiin/univ2.htm>

参加者には、当日の Zoom 録画データを後日閲覧できるよう、8月27日（火）より30日（金）までテレビ会議室専用のページで案内します。

申込方法： **Web からの申込み**

下記 Web の「参加申し込み」ボタンを押し、画面表示に従って入力、送信下さい。

<https://www.juce.jp/LINK/houhou/24houhou/>

メール添付あるいは FAX での申込み

別紙の申込用紙に記入の上、送付下さい。E-mail: info@juce.jp FAX: 03-3261-5473

参加者には、オンライン開催のため事前に発表会資料集を郵送します。

参加者は確実に受取れるよう、送付先住所、メールアドレスと緊急連絡用電話番号を記入ください。

* 申込に記載の個人情報は、下記の目的のみに使用し、それ以外には使用しません。

「大学名、氏名、所属(学部、部署)」は、発表会論文資料集(冊子)に参加者名簿として掲載します。「電子メールアドレス」は、事業案内の連絡先情報として使用します。「送付先住所」と「電話番号」は発表会開催後にデータを削除します。

申込締切り：令和6年8月14日（水）

テレビ会議室専用の URL、ID とパスワードをお知らせした後のキャンセルはできません。この場合、参加費の返金はしませんのでご了承ください。

参加費振込：できるだけ8月14日（水）までにお振込み下さい。

一括振込みの場合：振込依頼人名には、大学名、企業名の他に部署名等を記載ください。

個人振込みの場合：参加費の振り込み依頼人名には、大学名、企業名の他に氏名を記載ください。
シジョウキョウ

[振込先] りそな銀行市ヶ谷支店 普通預金 0054409 名義人 私情協

〒102-0073 千代田区九段北 4-1-14 九段北 TL ビル 4 F TEL:03-3261-2798

* 振込手数料は申込者各自で負担願います。

* **キャンセルは、8月14日（水）まで受付します。** 払い込まれた参加費があれば、振込手数料を差し引いた金額を返金します。

送付・問い合わせ先

公益社団法人 私立大学情報教育協会 事務局 E-mail: info@juce.jp（問い合わせ用）

〒102-0073 千代田区九段北 4-1-14 九段北 TL ビル 4F

TEL: 03-3261-2798 / FAX: 03-3261-5473

2024年度ICT利用による教育改善研究発表会発表一覧(28件)

* 発表は3会場から配信します。

* 研究発表者名は発表代表者を掲載しています。

(敬称略)

	発表時刻	発表番号	発表題目	研究発表者	大学名
A 初年次教育、分野横断SDGS、幼児初等中等	13:00	A-1	多人数授業で初年次学生が「学び直し」と「学びほぐし」を共に追究する学習環境の工夫	山口 好和	北海道教育大学
	13:20	A-2	Moodleを活用した入学前教育	斉藤 幸一	大阪電気通信大学
	13:40	A-3	生成系AIによる数理科学の社会的浸透力醸成：他分野の考察を含むPDCAの早送り化	金子 宏	東京理科大学
	14:00	休憩			
	14:10	A-4	生成AIやメタバースを活用した授業に関する研究	矢作 信行	帝京平成大学
	14:30	A-5	プログラミング学習における音読の有効性に関する検討	上田 麻理	神奈川工科大学
	14:50	A-6	プログラミング教育を通じた学生同士の学びの「場」の創出への取り組み	山脇 香織	淑徳大学
	15:10	休憩			
	15:20	A-7	ハイフレックス方式によるPC操作を伴う演習授業の成果と課題	真弓 英彦	名古屋芸術大学
	15:40	A-8	理工系各学科へ進学希望学生達の効果的なプログラミング教育：反転授業導入と教案活用	金 炯秀	日本大学短期大学部
16:00	A-9	ハピネスを可視化する活動を通じた学修意欲の向上に向けた取組	中村 太戯留	武蔵野大学	
B 情報専門、工学、農学、社会科学、医療	13:00	B-1	オープンソースを活用したオンライン授業支援	柏木 孝仁	久留米大学
	13:20	B-2	救急看護領域のノンテクニカルスキル習得と臨床実践への関心を刺激するVR看護教育	大田 博	福岡大学
	13:40	B-3	Web小テストによる学習習慣の改善	田中 雅章	愛知医療学院大学
	14:00	休憩			
	14:10	B-4	薬学部低学年を対象としたICT活用型学習システムの構築とその教育効果	石嶋 康史	鈴鹿医療科学大学
	14:30	B-5	基礎看護学の授業における多方向同時型デモンストレーション動画教材活用の学習効果	岡田 朱民	佛教大学
	14:50	B-6	LMSを活用した反転学修：学修時間向上の戦略と評価	丹野 嘉信	東京情報デザイン専門職大学
	15:10	休憩			
	15:20	B-7	数理系演習科目におけるランダムEドリルとランダム紙課題の有効性の比較と検証	土谷 洋平	神奈川工科大学
	15:40	B-8	Podcastを活用したマルチモーダル予習による主体性と共創力の向上効果	橋 完太	工学院大学
16:00	B-9	オンデマンド授業により開示された学生の講義理解と相互理解	山下 東子	大東文化大学	
16:20	B-10	アイトラッキングを使ったICT教材によるコロナ禍以降の実験教育での効果	岩淵 範之	日本大学	
C 語学、人文科学、キャリア教育系、その他	13:00	C-1	ICTを用いた日本語能力測定とその効果	尾本 康裕	城西国際大学
	13:20	C-2	努力を促し思考問題の解決能力を向上させる思考力向上トレーニングの学習効果	吉川 武憲	近畿大学
	13:40	C-3	ICTを活用した事前質問集と振り返りレポート集の作成・共有による教育効果の向上	庄司 一也	帝京平成大学
	14:00	休憩			
	14:10	C-4	情報とデータサイエンスの授業におけるメタバースを活用した教育効果の実証	加納 久子	明海大学
	14:30	C-5	基礎化学実験のLMSを活用したデータサイエンスの取り組み	小池 裕也	明治大学
	14:50	C-6	市販のLMSによる振り返りを利用したメタ認知による成長の促進	小林 志好	東京都市大学
	15:10	休憩			
	15:20	C-7	地域課題解決型AI教育プログラムにおける産学連携PBLの効果	小田 まり子	久留米工業大学
15:40	C-8	観光学習のための没入型シミュレーションの展開と効果	ハーキンソン エリック	京都外国語大学	
16:00	C-9	海外協定校連携科目群の構築による国際教育推進	関口 幸代	明治学院大学	